

研究授業記録

令和3年 2月 19日(金) 3校時 3年

単元名「江戸川区のうつりかわり」

No. (1 / 3)

授業者：中臺尚子

教師の発問と児童の反応

T：江戸川区の移り変わりを調べようということでこの間計画を立てました。(学習計画確認しながら)最初は何について調べていきますか。

C：土地の様子です。

T：そうですね、では早速土地の様子について調べていきましょう。

C：(板書をノートに書く)

江戸川区の土地の様子は、どのように変わってきたのだろうか？

T：黒板見ます。読みましょう

C：(全員でめあてを読む)

T：計画立てた時にも予想しましたが、もう一度詳しく予想してみてください。前と同じ考えの人は、それはそれで大丈夫です。前とちがう予想がある人は、違うものを書いてよいです。では書いてみましょう。

C：(予想を書く)

T：(つぶやき) 前に、本一色の周りの様子も見ましたね・・・

T：では聞いていきます。予想教えてください。

C：田をこわして町に変えた。

C：人が増えて、田や畑が少なくなった。

C：田んぼや空き地とかに家ができて、畑は少し残った。

C：家やデパートが多くなった。

C：人が増えて、田んぼじゃない土地が増えた。

C：道路が少なくなった。

C：ビルができて田んぼが少なくなった。

C：人が増えて、田んぼが減った。

教師の発問と児童の反応

T：では、実際どうなのか調べていきましょう。昭和30年ごろの江戸川区の様子。地図を見せます。(地図を出す)

C：(つぶやき) 緑多っ。

T：緑が田んぼなどで、黄色が家、住宅。紫っぽいところが、お店とか工場とか、家とは違う建物などです。みんなにも配ります。(昭和30年ごろの地図を配布) はり方を言います。折れるようにして。はみ出してもいいから予想の下に貼ってください。地図が左側にくればいいです。貼れた人は、地図のすきまのところに、「昭和30年ごろ」と書いておいてください。

C：(地図をノートに張り付ける)

T：そして次。昭和60年ごろ。さてどうなったでしょう。変わってそう？(地図を見せて) あれ、色が無い。みんなに塗ってもらいます。

C：えー！

T：さて、どんなふうに変化しているんでしょうね。(昭和60年の白地図を配布) 同じように貼ってください。書き方を言います。ぽつぽつの模様=紫。ななめ線=茶色。何もなし=黄色、横線=緑で塗ってください。では書きましょう。どんどん色塗りしてください。

C：(白地図に色を塗る)

T：できた人は、2つの地図を比べて、こんなところが変化しているなというところを見つけて、ノートの次のページに書いてみてください。

C：(徐々に色塗りから、気付いたことを書く作業に移行)

研究授業記録

令和3年 2月 19日(金) 3校時 3年

No. (2 / 3)

単元名「江戸川区のうつりかわり」

授業者：中臺尚子

教師の発問と児童の反応

T: 色塗りしている人、そろそろ終わりです。気付いたことを書く時間にしましょう。

T: 黒板にも色をぬったものを貼りました。気付いたことを書きましょう。

T: ごめん、言ってなかったですね、茶色は何もなかったところ。荒地地です。

T: では気付いたことを教えてください。

C: 畑が少なくなっている。

C: 昭和60年ごろのほうが、道路が増えている。

C: 昭和30年ごろにはなかったが、60年ごろには使われていない荒地ができた。

T: ここの荒地のところは、荒地じゃなくて葛西のほうの堤防になっています。波がこないようにしています。

C: 住宅がとても増えている。

T: では、さらに、現在。今はどうなったでしょうか

C: (つぶやき) めちゃくちゃやばい。住宅とかが・・・

T (地図を見せる)

C: あー (やっぱりという反応)

T: 何が「あー」なのか書いてください。気付いたことを書きましょう。(現在の地図を配布)

C: (気付いたことを書く)

T: では気付いたこと教えてください。

C: 住宅が倍になっている

T: そうですね、さらに増えていますね。

教師の発問と児童の反応

C: 荒地が、普通の住宅になっている。

T: 印刷で色が見えづらいかもしれないけど、黄色っぽいけど違う色しているのわかりますか? ここって何かな、葛西・・・

C: 臨海公園!

T: そうそう。なので、そこは住宅ではなく、公園になっています。

C: 荒地がなくなっている。

C: 昭和30年、昭和60年頃よりも、緑が少なくなっていて、黄色が多くなっている。

T: すごいね、昭和30年とも見て比べていますね。

C: 緑のところなくなっているけど、紫の工場などもなくなっている。

C: お店が、昭和60年頃には固まっていたけど、今はばらばらにいろいろなところにある。

C: 昭和30、60年ごろより川が増えている。

T: 30年から60の変化も驚きだったけど、現在への変化も驚きですね。

T: では、他の資料も見てください。(powerpoint スライドを次々に見せる)

T: 昭和30年ごろの様子です。葛西では、のりをとっていました。田植えをしていました。周りに家はないですね。小松菜もつくっていました。平井駅南口の様子、こんな感じですよ。川遊びの様子です。

平井駅南口の商店街です。高速道路も走るようになりました。東葛西の小松菜畑は、まわりに少し建物がありますね。建設中の葛西臨海公園です。

(スライドが現在の写真に変わる)

今の様子です。どう変わってる?

C: お店がいっぱい!

研究授業記録

令和3年 2月 19日(金) 3校時 3年

No. (3 / 3)

単元名「江戸川区のうつりかわり」

授業者：中臺尚子

教師の発問と児童の反応

T: 葛西臨海公園ができていますね、南葛西の住宅地。高い建物がいっぱい。(空撮の写真) 中川の周辺なんだけど、建物がいっぱいですね。

T: この当時から江戸川区に住んでいる小山さんの話を先生が聞きました。その話を見て、大事だなと思ったところに線を引いてください。ここ大事だなというところだけでいいです。(小山さんの話をまとめたものを配布)

C: (大事なところに線を引く)

T: 先生が読んでいきますね。「昭和(しょうわ)30年ごろは、江戸川区の多くの土地が田んぼやれんこん畑(はず田)などでした。お米やたみを作るためのイグサというものがたくさんほされていました。また江戸川区の南の葛西(かさい)地いきは海で、貝や魚をとっていました。時代が進み昭和60年ごろになると、田んぼや畑がどんどん住宅やその他の建物(たてももの)へと変化していきました。海があった葛西(かさい)地いきも埋(う)め立てられて、田んぼになり、その後さらにマンションなどが建(た)ち、住宅地へと変わっていきました。

その当時のお年寄(としよ)りの方は、土地が変わっていく様子を見て、このままの江戸川区がいいと思っていましたが、年齢(ねんれい)が若(わか)い人たちは江戸川区が変(か)わっていくことをよろこぶ人もいたように思います。」

T: どんなことお話していましたか。大事だと思うことを教えてください。

C: 「昭和60年ごろになると、田んぼや畑がどんどん住宅やその他の建物(たてももの)へと変化していきました。海があった葛西(かさい)地いきも埋(う)め立てられて、田んぼになり、その後さらにマンションなどが建(た)ち、住宅地へと変わっていきました。

教師の発問と児童の反応

その当時のお年寄(としよ)りの方は、土地が変わっていく様子を見て、このままの江戸川区がいいと思っていましたが、年齢(ねんれい)が若(わか)い人たちは江戸川区が変(か)わっていくことをよろこぶ人もいた」

T: では、まとめていきましょう。書き出しは先生のほうで書きます。「江戸川区の土地の様子は・・・」この続きを書きましょう。

T: できた人は、赤で囲んでおいてください。

T: すごいね、ちゃんと小山さんの話を入れている人がいますね。では、聞いていきます。教えてください。

C: まとめ「江戸川区の土地の様子は、住宅などが多くなり、変化する人を喜ぶ人もいれば、そのままがいいという人もいた。」

T: というように、時代が変わっていくのと同じで、土地の様子も変わっていったんだということです。今日はここまで大丈夫です。

板書記録



授業の様子

